

外国語活動学習指導案（第5学年）

1 単元名 「宝物を紹介しよう」

2 考 察

(1) 児童の実態（略）

(2) 教材観

本単元は、学習指導要領「外国語活動」の内容1「主としてコミュニケーションに関する事項」の指導内容(1)「外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること」に基づいて設定し、自分の宝物を紹介し合う活動を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度をはぐくんでいくものである。

児童は、初めて触れる外国語に興味をもって、取り組んでいる。一方で、使い慣れていない言語であるため、発話を戸惑う、会話がつながらないなどの様子が見られる。そこで、本単元では、自分の宝物を紹介し合う活動を通して、人とかかわる楽しさを味わうことをねらいとする。具体的には、まず、「つながっど！作戦」を取り入れた「コミュニケーションモデル」を見たりまねたりする。次に、それらを取り入れた「人間関係づくりのゲーム」を繰り返し行う。そして、「つながっど！作戦」を取り入れてペアで会話する「ハートポイント活動」を繰り返し行って自分の宝物を紹介し合い、クラスの宝箱を作るという活動に展開する。

本単元の学習を通して、使い慣れていない外国語であっても、コミュニケーションを図ることへの興味や意欲を高め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度をはぐくむことができると考える。また、人とかかわることで友達をよりよく理解したり、自分のよさを再認識したりすることができるようになる。と考える。

3 単元の活動目標

自分の宝物を紹介し合う活動を通して、相手の思いが分かる嬉しさや自分の思いを伝える心地よさを感じ、人とかかわる楽しさを味わっている。

4 主な表現や語彙

- ・場面 「思いを受け止める」「思いを伝える」
- ・表現 This is my ～. I like ～.
- ・語彙 Aha. Really? Good. Nice. O.K. Yes. Pardon? Why?
おもちゃ・スポーツ・動物・家族・色・大小・形・数などを表す言葉

5 授業中における生徒指導

- ・本単元においては、宝物を紹介する活動を通して人とかかわる楽しさを味わっていく。紹介する宝物は普段、自分が大切にしているもの、興味・関心があるものの中からは自己決定し、伝えたいことを集めて「Talking ボード」に貼っていく。
- ・人間関係づくりのゲームを通して相手の思いが分かる嬉しさや自分の思いを伝える心地よさなどを感じ、共感的人間関係づくりが行えると考え。
- ・「ハートポイント活動」を通して互いの宝物を認め合い、クラスの宝箱を作ることによって一人一人が自己存在感を感じることができると考える。

6 指導と評価の計画（4時間予定）

評価標準		① コミュニケーションへの関心・意欲・態度【コ】 ・「受け止め言葉」を用いながら、相手の思いを受け止めようとしている。 ・「Talking ボード」を見ながら、自分の思いを伝えようとしている。 ② 外国語への慣れ親しみ【外】 ・”Good.” “Really?” など「受け止め言葉」を用いながら、相手の宝物について聞こうとしている。 ・“This is my ～.” “I like ～.” など「Talking ボード」を見ながら、自分の宝物について伝えようとしている。 ③ 言語や文化への気付き【言】 ・日本語と外国語の違いや伝え方の共通点、相違点があることに気付いている。				
次	時	●主な学習活動と評価項目	○指導方針・支援・留意点	コ	外	言
1	1	●”I like ～”を使って、ペアで自分の好きなものについて話す。 ●「コミュニケーションモデル」を見て会話をつなぐ態度や表現があることに気付く。 ●「コミュニケーションモデル」をまねて、ペアで会話をします。	○自分の好きなものについて話すことで、会話がなかなかつながらないことに気付けるようにする。 ○本単元のめあてをつかめるように、ALT と HRT が「つなぐっど！作戦」を取り入れて会話している「コミュニケーションモデル」を示す。 ○「コミュニケーションモデル」をまねてペアで会話をすることで、会話をつなげたいという興味を高める。			○
		【言】日本語と外国語による思いの伝え方の共通点、相違点に気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉				
2	2	●人間関係づくりのゲーム①「はてな？・びっくり！」を行う。 ●「受け止め言葉」を用いる。	○相手の思いが分かる嬉しさを感じられるようにするために、「はてな？・びっくり！」を行う。 ○前半は、会話をつなぐ態度の大切さを実感させるために、？カードと！カードのみで行うようにし、相手が話すことにじっくり耳を傾けるよう助言する。「会話をつなぐ態度」としては、笑顔・うなずき・アイコンタクト・ジェスチャーを取り上げる。 ○後半は？カードと！カードとともに、「受け止め言葉」を用いて会話をつないでいくようにする。 ○「受け止め言葉」は、[Aha. Really?]（相槌を打つ）、[Good. Nice.]（ほめる）、[O. K. Yes.]（認める）、[Pardon?]（聞き返す）、[Why?]（促す）の5種類8語を精選し、聞き手が状況に応じて用いることができるように、用いる場面やその働きについて確認する。伴う表情やジェスチャーなどについても伝える。			○
		【外】“Good.” “Really?” など「受け止め言葉」を用いながら、相手の宝物について聞こうとしている。 〈行動観察・振り返りカード分析〉				

3	3	●「Talking ボード」を作る。 ●人間関係づくりのゲーム②「ひとことキャッチボール」を行う。	○自分の宝物について話したいことを整理し、明確にするために「Talking ボード」を用いる。 「Talking ボード」とは、話し手が伝えたいことを集めて弱粘性の付箋紙に絵や日本語で書いて貼り、話す際に見ることができる A4 版の紙ボードである。 ○自分の思いを伝える心地よさを感じるようにするために、「ひとことキャッチボール」を行い、自然に楽しく話せるようにする。 ○英語でもコミュニケーションを図ることができるということに気づき、意欲を高めることができるよう、ペアで交代しながらゲームを繰り返し行うようにする。			○
		【外】“This is my ～.” “I like ～.” など「Talking ボード」を見ながら、自分の宝物について伝えようとしている。＜行動観察・振り返りカード分析＞				
3	4	●「ハートポイント活動」を行い、自分の宝物について紹介し合う。 ●相手の宝物が分かったらカードに記入し、クラスの宝箱を作成する。	○友達の宝物を聞いたり、自分の宝物を話したりしながら人とかかわる体験をするために、「クラスの宝箱を作ろう」という場を設定する。 ○人とかかわる楽しさを味わわせるために、「ハートポイント活動」を行う。 「ハートポイント活動」とは、話し手と聞き手がハートに見立てたおはじきを持ち、話すたびにポイントとして二人でおはじきをためていく活動である。 ○話し手と聞き手、双方の活動量を確保しながら人とかかわる体験をするために、相手を替えて3回のペア活動を行うようにする。			○
		【コ】相手の思いを受け止めたり、自分の思いを伝えたりしながら人とかかわる楽しさを味わっている。＜行動観察・振り返りカード分析＞				

7 本時の学習(1/4)

(1) 目 標 「コミュニケーションモデル」を見たりまねたりする活動を通して、会話をつなぐ態度や表現があることに気付くことができる。

(2) 準 備 教師：「コミュニケーションモデル」(VTR 教材) ワークシート、振り返りカード

(3) 使用表現 I like ～. おもちゃ・スポーツ・動物・家族・色・大小・形・数などを表す言葉

(4) 展 開

時間	活 動			支援及び留意点
	児童	T 1	T 2 (ALT)	
2	・T1、T2 に挨拶をする。 Hello. I' m good/fine /sleepy/tired/hungry	・全体、ALT に挨拶をする。 Hi, everyone.	・児童、T1 に挨拶をする。 Hello, class. How are you?	・緊張をほぐし、臆せずに活動できるような温かい雰囲気を作るようにする。
10	・T1 と T2 の会話を聞いたあと、I like～. を使って、ペアで自分の好きなものについて話す。	・T2 との会話を演示し、相手の言っていることがよくわからず会話がつかない様子を強調する。	・T1 との会話を演示し、一方的に話し会話をつなげようとしないう様子を強調する。	・一緒に考えることを促すため、T1 は学習者モデルとして、故意に会話がつかない様子を表すようにする。 ・宝物について児童自身が実際に話してみることで、会話がなかなかつながらないことに気付くようにする。
	T1: I like cats. T2 Oh, really? Do you have a cat? What's her name? T1: ??? Name? わからない・・・ みんな、どうすればいい? Ss: 「もう1回言って」って頼んでみたら? T1: えっ、どんなふうに? Ss: もう1回 (指で1を表す)・・・			
15	会話をつなぐひみつを探ろう！ ・「コミュニケーションモデル」を見て、会話をつなぐ態度や表現があることに気付く。	・「コミュニケーションモデル」を提示する。	・「コミュニケーションモデル」で提示した会話をつなげる態度や表現を演示する。	・本単元のねらいを視覚的にとらえるために、ALT と HRT が「つなぐど！作戦」を取り入れて自分の宝物について会話している「コミュニケーションモデル」を示す。
13	・「コミュニケーションモデル」で気付いた会話をつなぐ態度や表現をまねたり、ジェスチャーゲームをしたりする。	・「コミュニケーションモデル」を再提示したり、T2 と演示したりする。	・会話をつなぐ態度や表現を演示したり、ジェスチャーゲームをT1 と演示したりする。	・「コミュニケーションモデル」をまねて会話をする中で、会話をつなげたいという興味を高める。
5	・活動を振り返り、カードに記入する。	・本時でのがんばりを称賛し、次時の学習内容を伝える。	・本時でのがんばりを称賛し、感想を述べる。	・活動の様子を具体的にほめることで、次時への意欲を高める。
	【こどもの姿】【言】 笑顔でしゃべるといいね。分からないときは、もう1回言ってもらえばいいんだね。相手に伝わらないときは、ゆっくりしゃべってあげるといいみたいだね。ぼくたちにもできそうだね。＜行動観察・振り返りカード分析＞			
	・終わりの挨拶をする。 See you, T1. See you T2.	・終わりの挨拶をする。 Good-bye, class.	・終わりの挨拶をする。 Bye! See you next week!	

7 本時の学習(2/4)

(1) 目 標 人間関係づくりのゲーム活動を通して、「受け止め言葉」を用いながら、相手の宝物について聞くことができる。

(2) 準 備 教師：「受け止め言葉」カード（提示用） ?カード!カード（配布用）
「会話をつなげる態度」カード（提示用） ワークシート、振り返りカード

(3) 使用表現 Aha. Really? Good. Nice. O.K. Yes. Pardon? Why?
I like ～. おもちゃ・スポーツ・動物・家族・色・大小・形・数などを表す言葉

(4) 展 開

時間	活 動			支援及び留意点
	児童	T 1	T 2 (A L T)	
5	・T1、T2に挨拶をする。 Hello. I' m good/fine /sleepy/tired/hungry	・全体、ALTに挨拶をする。 Hi, everyone.	・児童、T1に挨拶をする。 Hello, class. How are you?	・臆することなく活動できるような温かい雰囲気を作るようにする。
7	友達の宝物を聞こう ・聞き手は、?カードと!カードのみを用いて「はてな?・びっくり!」を行う。	・「はてな?・びっくり!」を説明し、T2と演示する。 ・聞き手は?カードで話を促し、なるほどと思ったときは!カードを使うよう伝える。	・「はてな?・びっくり!」をT1と演示する。	・話し手は、自分の好きなものについて知っている英語や日本語を用いて話すよう助言する。 ・聞き手はカードのみで会話し、その不自然さに気付くことができるようにする。
8	・「会話をつなぐ態度」に慣れる。 ・聞き手は?カード、!カードとともに「会話をつなぐ態度」を用いて「はてな?・びっくり!」を行う。	・「会話をつなぐ態度」（笑顔・うなずき・アイコンタクト・ジェスチャー）を確認する。	・「会話をつなぐ態度」（笑顔・うなずき・アイコンタクト・ジェスチャー）を演示する。	・聞き手は言葉を使わずに会話し、「会話をつなぐ態度」の大切さを実感させるようにする。
20	・「受け止め言葉」に慣れる。 ・聞き手は?カード、!カードとともに「受け止め言葉」「会話をつなぐ態度」を用いて「はてな?・びっくり!」を行う。 ・キーワードゲームを行う。	・状況に応じて「受け止め言葉」を用いることができるよう、用いる場面とその働きを確認する。 ・キーワードゲームを支援する。	・「受け止め言葉」を用いる際の発音や表情、ジェスチャーを伝える。 ・キーワードゲームを行いながら、「受け止め言葉」を用いることに戸惑っている児童を、一緒に発音しながら支援する。	・聞き手は「受け止め言葉」を用いて会話し、相手の思いが分かる嬉しさを実感させるようにする。
5	・活動を振り返り、カードに記入する。	・本時でのがんばりを称賛し、次時の学習内容を知らせる。	・本時でのがんばりを称賛し、感想を述べる。	・活動の様子を具体的にほめることで、次時への意欲を高める。
	【こどもの姿】【外】 友達の話をじっくり聞けたよ。受け止め言葉は初めてだったけれど、言ってみたよ。相手が受け止め言葉を言ってくれて安心したよ。 <行動観察・振り返りカード分析>			
	・終わりの挨拶をする。 See you, T1. See you T2.	・終わりの挨拶をする。 Good-bye, class.	・終わりの挨拶をする。 Bye! See you next week!	

7 本時の学習(3/4)

(1) **目 標** 人間関係づくりのゲーム活動を通して、「Talking ボード」を見ながら自分の宝物について伝えることができる。

(2) **準 備** 教師：付箋紙（配布用） ボール 16 個 「受け止め言葉」カード（提示用）
ワークシート、振り返りカード
児童：宝物の絵

(3) **使用表現** This is my ～. I like ～.
Aha. Really? Good. Nice. O.K. Yes. Pardon? Why?
おもちゃ・スポーツ・動物・家族・色・大小・形・数などを表す言葉

(4) 展 開

時 間	活 動			支援及び留意点
	児童	T 1	T 2 (A L T)	
5	・ T1、T2 に挨拶をする。 Hello. I' m good/fine /sleepy/tired/hungry.	・ 全体、ALT に挨拶をする。 Hi, everyone.	・ 児童、T1 に挨拶をする。 Hello, class. How are you?	・ 緊張をほぐし、臆することなく活動できるような温かい雰囲気を作るようにする。
10	自分の宝物を話そう ・ 自分の宝物について「Talking ボード」を作る。	・ 「コミュニケーションモデル」で用いられていた「Talking ボード」を例示したり、作り方を演示したりする。	・ 「Talking ボード」を作りながら英語でどのように言うのかという児童からの問いかけに対応し、支援する。	・ 「コミュニケーションモデル」では「Talking ボード」が話す際の補助手段になっていたことを想起させ、自分の宝物について伝えたいことを集めて整理し、付箋紙に絵や日本語で書いて貼るよう伝える。
10	・ 「Talking ボード」を見ながら、宝物について伝える練習をする。	・ 宝物を端的に説明できるよう助言したり、付箋紙を確認したりする。	・ 付箋紙に書かれた日本語を英語でどのように言うのかという児童からの問いかけに対応し、支援する。	・ あらかじめ児童の宝物を類別し、色・大小・形・数などを表す言葉を精選しておく、言い方の練習を全体で行う。その後、状況に応じて個別に支援する。
15	・ 「Talking ボード」を見ながら「ひとことキャッチボール」をペアで行う。2分で交代する。	・ 「ひとことキャッチボール」の行い方を確認する。	・ 宝物の説明を戸惑う児童がいる場合は、一緒に発音しながら支援する。	・ 話し手は自分の思いを伝える心地よさを感じられるよう、「Talking ボード」を見ながら話すようにする。 ・ 聞き手は、「受け止め言葉」を用いて会話をつないでいくよう助言する。
5	・ 活動を振り返り、カードに記入する。	・ 本時でのがんばりを称賛し、次時の学習内容を伝える。	・ 本時でのがんばりを称賛し、感想を述べる。	・ 活動の様子を具体的にほめることで、次時への意欲を高める。
	【こどもの姿】【外】 Talking ボードを見たらいっぱいしゃべれたよ。 ボールを投げ合ったらだんだん続いたよ。宝物のことが話せて気持ちよかった。 ＜行動観察・振り返りカード分析＞			
	・ 終わりの挨拶をする。 See you, T1. See you T2.	・ 終わりの挨拶をする。 Good-bye, class.	・ 終わりの挨拶をする。 Bye! See you next week!	

7 本時の学習(4/4)

(1) 目 標 ハートポイント活動を通して、相手の思いを受け止めたり、自分の思いを伝えたりしながら人とのかかわる楽しさを味わうことができる。

(2) 準 備 教師：おはじき/ガラス瓶（16 ペア分） 「受け止め言葉」（提示用） 宝物カード（配布用）
ワークシート、振り返りカード クラスの宝箱を表した絵（掲示用）
児童：Talking ボード

(3) 使用表現 Aha. Really? Good. Nice. O.K. Yes. Pardon? Why?
I like ～. おもちゃ・スポーツ・動物・家族・色・大小・形・数などを表す言葉

(4) 展 開

時間	活 動			支援及び留意点
	児童	T 1	T 2 (A L T)	
5	・T1、T2に挨拶をする。 Hello. I' m good/fine /sleepy/tired/hungry	・全体、ALTに挨拶をする。 Hi, everyone.	・児童、T1に挨拶をする。 Hello, class. How are you?	・緊張をほぐし、臆することなく活動できるような温かい雰囲気を作るようにする。
7	友達の宝物を聞いたり、自分の宝物を話したりしよう			・「会話をつなぐ態度」「受け止め言葉」「Talking ボード」の三つを確認し、それらを生かして「ハートポイント活動」を行うことを伝える。
28	・ペアになり、ガラス瓶とおはじき使って、「ハートポイント活動」を行う。 ・聞き手と話し手の役割を決め、交代する。 ・ペアでの会話が終わったら、相手の宝物カードに分かったことを記入する。	・宝物の説明を戸惑う児童には、「Talking ボード」に貼られた付箋紙を見るよう声かけをする。 ・「受け止め言葉」を戸惑う児童には、カードを提示し状況に合うものを見つけて言うよう支援する。	・宝物の説明を戸惑う児童には、一緒に英語で発音しながら支援する。 ・「受け止め言葉」を戸惑う児童には、カードに書かれた「受け止め言葉」を一緒に発音しながら支援する。	・人とのかかわる楽しさを味わわせるために、ペアでの会話で話すたびにポイントとしてハートに見立てたおはじきをためていくよう伝える。 ・聞き手と話し手の役割を明確にするために、話し手は「Talking ボード」を手に持つよう伝える。 ・聞き手と話し手、双方の活動量を確保するため、相手を替えて三回のペア活動を行うよう伝える。 ・ペアでの会話を終わるごとに宝物カードを記入するよう伝え、宝物カードを集めてクラスの宝箱としてまとめる。
5	・活動を振り返り、カードに記入する。	・本時でのがんばりを称賛し、次時の学習内容を伝える。	・本時でのがんばりを称賛し、感想を述べる。	・活動の様子を具体的にほめることで、次時への意欲を高める。
	【こどもの姿】【コ】 おはじきが〇個たまったよ。〇〇さんの宝物のことが分かってよかったよ。私の宝物について前よりいっぱいしゃべれたよ。会話がつながったよ。 今度は〇〇さんとしゃべってみたいな。			＜行動観察・振り返りカード分析＞
	・終わりの挨拶をする。 See you, T1. See you T2.	・終わりの挨拶をする。 Good-bye, class.	・終わりの挨拶をする。 Bye! See you next week!	

「つなぐっど！作戦」を取り入れた外国語活動計画案(第6学年)

1 単元の目標及び評価規準

(1) 単元の目標

将来の夢を紹介し合ってクラスの夢飛行機を作る活動を通して、友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとする。

(2) 言語材料

I want to be ～. What do you want to be?

Aha. Really? Good. Nice. O.K. Yes. Pardon? Why? Because～.

職業を表す言葉

(3) 評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語活動への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
自分の将来の夢を友達に紹介したり、友達の夢を聞こうとしたりしている。	自分の将来の夢を伝える表現や相手の夢を理解する表現を聞いたり、言ったりしている。	世界にはさまざまな夢をもった同年代の子どもがいることに気付いている。

2 指導計画

過程	時	学 習 活 動	研 究 上 の 手 だ て
出 会 う	1	○資料(統計データ等)から世界の子どもの夢について知る。 <予想される児童の反応例> 「世界には日本とはずいぶん違う生活をしている子どもたちがいるんだね。」 「みんないろいろな夢をもっているね。」 ○学級担任が「つなぐっど！作戦」を取り入れながら話す映像を見て、言葉以外にもコミュニケーションを図る方策があることに気付く。 <予想される児童の反応例> 「二人とも笑顔だね。」 「(担任) 先生は絵を見せているね。」 「(担任) 先生がわからないとき、(ALT) 先生はゆっくりしゃべっているね。」 「(担任) 先生、日本語使っている！」 ○「コミュニケーションモデル」をまねてジェスチャーゲームをする。	○世界の子どもの夢について知ること、自分も将来の夢について話してみたいという気持ちを高めるようにする。 ○本単元のめあてをつかませるために、ALTと学級担任が「つなぐっど！作戦」を取り入れて会話している「コミュニケーションモデル」を示す。 <コミュニケーションモデル例> ☆印は「つなぐっど！作戦」を示す Hi, I am …………… Hello, I am …………… HRT: My dream ……singer.(絵を見せながら←☆) ALT: Oh, really? Why? ←☆ HRT: Because...I like singing.(歌うジェスチャーをする←☆) ALT: Nice.←☆ Do you play any musical instruments? HRT: Pardon? ←☆ ALT: Do you play the piano or guitar? (ゆっくり←☆) HRT: Yes, I play the piano.(弾くジェスチャーをする←☆) So, I want to be a singer. ALT: Good! …… Thank you for talking. See you. HRT: Thank you. ○「コミュニケーションモデル」で用いられていたジェスチャーや顔の表情を楽しみながらまねることで、会話をつなげたいという興味を高める。
	2	○人間関係づくりのゲーム①「夢マップ」を行う。 ・「夢マップ」を作る。 ・「夢マップ」を紹介し合う。	○自分の将来の夢を探るために、たくさん書き出した夢の中からいちばんかなえたい夢を選び、「夢マップ」を作る。 ○相手の考えが分かる嬉しさを感じさせるために、

慣 れ る	3	○「受け止め言葉」に慣れる。 ○「Talkingボード」を作る。 ○人間関係づくりのゲーム②「夢紹介トス」を行う。	「会話をつなぐ態度」をとったり、「受け止め言葉」を用いたりしながら、将来の夢をペアで紹介し合う。 ○自分の将来の夢について話したいことを整理し、明確にするために「Talkingボード」を用いる。 ○聞き手としてグループのメンバー一人一人の夢を受け入れると同時に、話し手として自分の考えを伝える心地よさを感じさせるために「夢紹介トス」をグループを替えて3回繰り返して行う。最初は「Talkingボード」を見ること、次に絵を指し示すことなどを助言し、回を重ねるごとに、自然に楽しく話せるようにする。 ○第2時に「夢マップ」の紹介活動を、第3時に「夢紹介トス」をそれぞれ繰り返し行うことで、英語でもコミュニケーションを図ることができるということに気づき、意欲を高めることができるようにする。
広 げ る	4	○ペアで会話をつなげる「ハートポイント活動」を行い、自分の将来の夢について紹介し合う。 <ペアでの会話例> Hi, I am... Hello, I am.. S1: My dream ...astronaut. S2: Really? S1: I want to be an astronaut. S2: Nice. S1: Thank you. S2: Why? S1: Because ... I like stars. S2: Stars! どこに行きたい? S1: 火星...Mars... I want to...travel... space. S2: Good! Thank you . See you. ○相手の夢が分かったらカードに記入し、クラスの夢飛行機を作成する。	○友達の将来の夢を聞いたり、自分の夢を言ったりしながら人とかかわる体験をさせるために、「世界を飛び回るクラスの夢飛行機を作ろう」という場を設定する。 ○人とかかわる楽しさを実感させるために、会話がつながったら瓶の中におはじきを入れハートポイントを増やしていくようにする。 ○話し手と聞き手、双方の活動量を確保しながら人とかかわる体験をさせるために、相手を替えて3回のペア活動を行うようにする。 ○人とかかわることで友達をよりよく理解したり、自分のよさを再認識したりしながら、世界へのつながりへと視野を広げることができるように、会話をつなげることで分かった友達の夢をクラスの夢飛行機としてまとめる。

Talkingボード

(宝物が猫の場合)



私の宝物は、
「猫」.....



宝物は学校に持ってこられないので、絵を描いてA4版厚紙に貼りました。



宝物を説明する言葉を付箋紙に書いて絵の周りに貼りました。



受け止め言葉



会話をつなぐ態度

笑顔



アイコンタクト



うなずき

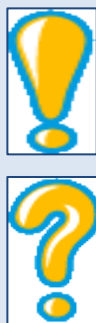


ジェスチャー



はてな?・びっくり!

ねらい	・ 受け止め言葉を使うことで相手の話に耳を傾けることができるようにする。
準備	?カード!カード
時間	1ペア5分



【進め方】

- ① 聞き手は、「?カード」を相手に見せる。
- ② 話し手は、自分のことを話す。
- ③ 聞き手は、「!カード」を出すとともに受け止め言葉を使う。「?カード」で話を促す。
- ④ 話し手は、続きを話す。
- ⑤ ③と同じ

相槌を打つ	A ha. Really?	受け止め言葉
ほめる	Good. Nice.	
認める	O.K. Yes.	
聞き返す	Pardon?	
促す	Why?	

□ 2分間たったら交代し、同様に行う。

ひとこと キャッチボール

ねらい	・リラックスしながら自分の気持ちを表現する。 ・ボールを受け止める動作や受け止め言葉とともに、相手の気持ちも受け止めようとする。
準備	やわらかいボール
時間	1ペア5分



【進め方】

- ① 話し手は、ボールを投げる時、自分のことを話す。
- ② 聞き手は、受け止め言葉を言いながらボールを返す。
- ③ ①と同じ

相槌を打つ	A ha. Really?	受け止め言葉
ほめる	Good. Nice.	
認める	O.K. Yes.	
聞き返す	Pardon?	
促す	Why?	

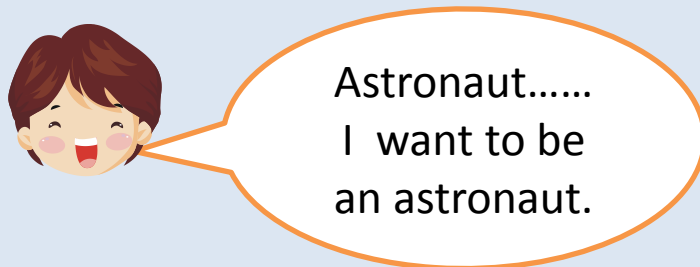
- ❑ 相手が受け取りやすいボールを投げ合う。
- ❑ 2分間たったら交代し、同様に行う。

夢マップ

ねらい	- 自分の将来の夢を探る。 - 受け止め言葉を使うことで相手の話に耳を傾けることができるようにする。
準備	A4用紙 筆記用具 色鉛筆
時間	マップ作り10分 紹介1ペア5分



①



②



③

【進め方】

- ① 用紙に将来の夢を書き出し、いちばんかなえたい夢を色鉛筆で囲む。
- ② ペアの相手に紹介する。
- ③ 聞き手は、受け止め言葉を使って聞く。

相槌を打つ	A ha. Really?	受け止め言葉
ほめる	Good. Nice.	
認める	O.K. Yes.	
聞き返す	Pardon?	
促す	Why?	

□ ペアを替えて紹介し合う。

夢紹介トス

ねらい	・リラックスしながら自分の考えを表現する。 ・クッションを受け止める動作や受け止め言葉とともに、相手の考えも受け止めようとする。
準備	やわらかいボールやクッション
時間	1グループ10分

【進め方】

- ① 5～6人のグループで円を作る。
- ② 相手の名前を呼びかけてから、自分の夢を話し、クッションをトスする。
- ③ 受け止め言葉を言いながらクッションを受け取り、同様に次の人へトスする。

相槌を打つ	A ha. Really?	受け止め言葉
ほめる	Good. Nice.	
認める	O.K. Yes.	
聞き返す	Pardon?	
促す	Why?	

